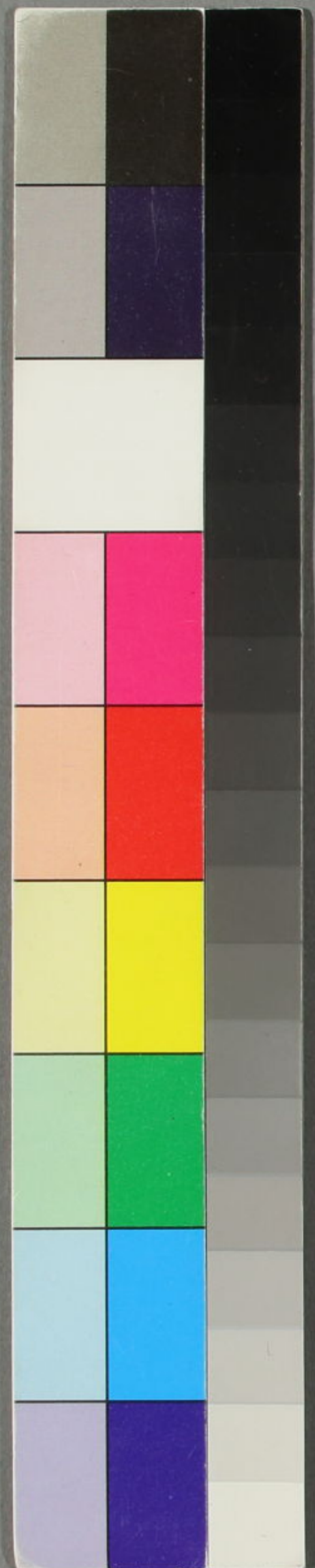


淡窻六種

迂言

卷之四



題迂言首

迂言六篇、不載撰者姓名、於人家所鬻故紙中得之、  
書言經濟之說、專主列國、不及天下、蓋成於侯國微  
臣之手、以身不在其位、不敢自顯也、其指斥近時病  
弊、多中事情、至論施設之方、則有可行焉、有不可行  
焉、以迂爲名、可謂善於自處矣、編次錯亂、又有散失、  
頗加修理、命侍史謄之、以爲帳中之秘、觀有昇平二  
百之語、則其人距今未遠、或存在世、恨不一見之、以  
盡其蘊也、庚子仲秋稔六日、荅陽幽人廣瀨建書於

梅花塢淡息之下、

迂言

國本一

東照神祖、關原ノ一戰ニ、四海ノ亂ヲ平ケ玉ヒシヨ  
リ、今ニ至ルマテ、二百三十余年、天下安然トメ、干  
戈ノ事ヲシラス、君臣上下、各其分ニ安セリ、ソレ  
漢土ニテハ、三代ヲ稱シ、就中周ハ國運長久ニシ  
テ、八百年ノ久キニ至レリ、然レ氏、武王ヲ去ル  
纔ニ三世、昭王ノ時ニシテ、南巡不還ノ變アリ、其  
子穆王ニ及テ、荒服ノ者至ラス、十餘世幽王ニ至

テ、國家傾覆セリ、又 我邦ニテハ、 王朝ノ時ヲ  
盛ナリトスレバ、東夷征伐等ノヲアリテ、二百年  
干戈ヲ用ヒサルヲ、未タ曾テ聞カス、然レハ、方今  
ノ太平ハ、漢土 我邦ニ於テ、開闢以來ノ一時ト  
云ヘキナリ、コレ 神祖遺徳ノ遠ニ及ヘルト、歷  
世 大君ノ能 祖宗ノ法度ヲ守リ玉ヘルトニ  
ヨレリ、下タル者、豈其大恩ヲ知サル可ニヤ、且幸  
ニメ此時ニ生レ合セタリ、亦豈自樂マサル可ニ  
ヤ、然ルニ、今時諸侯ノ國、貧窮極テ甚シク、上ハ國

君ヨリメ、下ハ士大夫庶人ニ及フマテ、戚々トシ  
テ憂懼シ、身ノ置キ所ナキカ如シ、ソレ諸侯ヲ分  
チ封スルヲ、其妻子親族ヲ養ハシメシカ爲ノミ  
ニ非ス、武備ニ供シ、爭亂ヲシツメシカ爲ナリ、今  
時ノ如ク、干戈ヲ用ユルヲ無キ時ハ、諸侯ハ土地  
ヲ賜ハリタル而已ニシテ、何ノ勞役モナキヲナ  
レハ、兵糧ハ倉廩ノ中ニ朽チ、軍用金ハ府庫ニ充  
滿スヘキヲナリ、然ルニ、ソノ蓄ヘナキノミナラ  
ス、預メ數年ノ後ノ歲入ヲ引キ當ニシテ、高賈ノ

金ヲ借り、一時ノ急ヲ救ヲ事トセリ、何ソソレ顛  
倒ノ甚シキヤ、今時ハ諸侯ニ明君アリテ、儉約ヲ  
務テ、國家ノ窮ヲ救ヲ心トシ玉ヒ、臣下ニモ亦種  
種ノ策畧ヲ獻シテ、國ヲ富スノ術ヲ行フ者アリ、  
一旦ソノ効ナキニ非サレト、只一時ノ利益ニメ、  
永久ノ謀ニ非ス、是ヲ以、時過キ世カハレハ、ソノ  
法忽チ破レテ、依然トメ困窮ニ及ヘリ、是唯ソノ  
末ヲ務メテ、ソノ本ヲ正スニ暇ナキ故ナリ、喻ハ、  
湯ノ沸タルヲ止メントメ、水ヲ加ユレト、薪ヲ除

ク、ヲ知ラサルカ如シ、扱本ヲ正ス、如何ト云  
ハ、風俗ヲ變スルニシクハナキナリ、風俗ハ國  
ノ本ナリ、國ノ盛衰存亡ハ、皆風俗ノ美惡ニヨル  
ナリ、當時武門ニ一種ノ弊俗アリテ、和漢ノ古ヘ  
ニ其類ナキ、多シ、是ヲ以、困窮モ亦古今ニ並ナ  
シ、然レト、人皆云、風俗ハ天下一同ノナレハ、諸  
侯ト云、此之ニ隨ハサルヲ得ス、安ソ獨其國ノ  
ミヲ變スルヲ得ンヤト、是不學無術ノ徒ノ言  
ナリ、凡物之理ハ、大小トナク一ナリ、試ニ庶人ノ

上ヲ以テ之ニ喩ヘシニ、庶人ノ職ハ、父母妻子ヲ  
養ヒ、衣食住ニ乏カラサルマテノ一ニ、然ルニ家  
數千金ノ蓄アリテ、家族兩三人ニ過サル者アリ、  
如此ハ、衣食豐滿スヘキ一ナルニ、却テ身代立行  
キカタク、ソノ屋宅ヲ典賣シテ、父子分散スルニ  
至ル、是レ无他、世上ノ風俗ニカラメラル、故ナ  
リ音信贈答ヨリメ、年中ノ行事、一々閭里ノ風俗  
ニ從ヒ、他人ノスルホトノ事ハ、是非正セラカナ  
ハヌ一ニ心得タル故、其費莫大ニシテ、遂ニ家ヲ

亡スニ至ルナリ、若シ其主人タル者見識アリテ、  
世上ノ風俗ニ隨ハス、一己ノ家法ヲ建立シ、衣ハ  
寒ヲフセクニ取り、食ハ腹ニ滿ニトリ、屋ハ風雨  
ヲ覆ニトリ、其他音信贈答ノ類、一切省畧スルト  
キハ、身代兩三年ノ中ニ、忽立カワルナリ、諸侯ノ  
國亦如此、但シ此處ハ、當時政ヲスル程ノ人、皆心  
ツキタル一ナレト、唯内心ニ世上ノ風俗ヲヨキ  
一ニ思ヒ、已レ獨其例ニ異ナルヲ耻辱ト心得タ  
ルユヘ、節儉ヲ勤ムル中ニモ、至テ心苦シテ、少シ

時過レハ、定タルコトツレテ、モトノ通りニナル  
ナリ、若世上ノ風ハ惡シテ、己カ國風ハ善ト云フ  
コトヲ知り、一時ノ貧富ニ拘ワラスシテ、國風ヲイ  
ツマテモ守ルトキハ、困窮ノ源長塞ルナリ、ソノ  
善キコトヲ善キト知コト、智者ノ上ニテハ易キコトナ  
レト、凡人ノ上ニテハ、唯世上一同アルコトヲ善ト  
ノミ心得ルコトハ、一國ノ風俗、スヘテ善キ處ニカ  
タマルニ非サレハ、其理ヲ知ラシメ難シ、是風俗  
ヲ變ルコト以テ、最初ノ務トスル所以ナリ、

天下初テ定タル時ハ、人情久シク亂ニ苦タル未  
ナルコトハ、萬事儉素ニシテ、奢靡ヲ好ムコトナケレト、  
太平久ニ及ニテハ、人心安佚ニ耽リテ、奢ヲ生シ、  
遂ニ亂ヲ催スニ至ルコト、和漢古今一轍ナリ故ニ、  
弊俗ト云モノハ、皆治世安佚ヨリ生スルモノニ、  
前ニ述タル如ク、我邦當今ノ太平、古今ニ例少  
キコトナルコトハ、ノ弊俗モ、亦古今ニ未曾有ノコト  
ノミナリ、此俗ヲ一變スルニ非レハ、今時ノ困窮  
ヲ救フ難ク、又漸々衰亂ニ赴ク勢ヲ遏止ムル

一モ難ナリ因テ弊俗ノ中其大ナル物ヲ舉ル  
左ノ如シ、

第一ニ國君ヨリ群臣ニ至ルマテ其行儀尊倨高  
大ニ過タリ今時諸侯ノ振舞ヒ古ノ諸侯ハサテ  
ヲキ漢土 我朝ノ天子モ及サル尊大ナルナ  
リ文盲ナル者ハ武家ト云モノハ如此ニ有ル筈  
ノ様ニ思ヘ氏古ノ武家ハ然ラス列國ノ開祖タ  
ル君ハ何レモ君臣上下ノ間至テ親ク近カリ  
ナリ其事ハ國初ノ物語類ヲ讀タル程ノ人ハ知

ルヘキナリ今時ノ風儀ハ全ク泰平久シク續キ  
タルニヨリ上タル人富貴ノ内ニ成長メ下ノ情  
ニ通セス下タル者ハ上ヲ恐ル、一甚ク敬メ遠  
クルノ心得ナル故其間日々ニ隔タリテ如此ニ  
ナレリ是全ク太平ノ弊俗ニメ衰亂ニ赴ムクノ  
候ナリ今時臣下ノ目見ヘスルトキ始終低頭メ  
少モ君ノ面ヲ見ル一ヲ得ス君モ亦其面ヲ見玉  
ワス目見エト云ハ名有リテ實ナキ一ナリ言ヲ  
掛ケ玉フニモ格式アリテ位卑キ者ニハ言カ、



ラス、夕トヒ言アリテモ、此方ヨリ答辭ヲ申ス  
カ、ナワス、又教ヲ施ス者ハ、天子ト雖、北、面セサ  
レ、古ノ禮ナルニ、今時ハ、少シ席ヲ改ルノミニテ、  
古禮ノ式ニヨル人ハ、十ニ二三モナシ、道ノ行レ  
サル所以ナリ、又大臣ヲハ、敬禮スルヲ古ヨリノ  
道ナレ、氏、今ハ老臣國政ニ任スル者トテモ、己カ  
幼子弱孫、或ハ賤妾ノ下ニ置キ、其類ヨリモ、臣僕  
ノ如クニ遇セシムル類ヒアリ、漢土ノ禮ハ暫ク  
ヲキ、近ク我邦ニテ論センニ、親王ハ大臣ノ下

ニ次ヅルヲ、皇朝ノ制ナリ、其通ニコソナク、氏  
相應ノ禮敬ハ右ヘキヲナリ、人君己ニ如此ナレ  
ハ、臣下皆其風ヲ學ヒテ、家老物頭ハ、何ヲ以テカ、  
我家ヲ高フラント云ヒ、平士歩卒ハ、何ヲ以テカ、我  
身ヲ高フラント云ヒ、互ニ腕臂ヲ張りテ、人ヲ直  
下ニ見テ、無禮ヲスルヲ、勲功ノ如ニ心得ルナリ、  
易ノ卦ニ、坤下乾上ヲ否ト云、地ハ下ニ在テ、其氣  
上ニノホラス、天ハ上ニアリテ、其氣下ニクダラ  
ス、上下懸隔ノ通セス、故ニ否塞ノ義トメ、君臣和

合セスシテ、國家治ラサルノ象トセリ、今ノ武門ノ風、全ク此處ニ落ルナリ、今時儉約ヲ務メテ、奢靡ヲ戒ル、諸國皆其說アリト雖、凡奢靡ノ源ハ、尊倨ヨリ起レリ、尊倨ノ態ヲ不改メ、イカ程節儉ヲ行フ、凡前ニ云ヘル水ヲ加ヘテ薪ヲ添ルカ如シ、畢竟詮ナキナリ、  
第二ニ、誇張矜伐ヲ務ル、ナリ、人君苟且ノ外出ニモ、數百人ヲ引率メ、戰場ニ趣クノ裝ヲナシ、其衣服器仗マテモ、美ヲ盡シ、嚴シク呵殿ヲ行フ

、表向ハ非常ヲ警護スルト云フ申立ナレ、凡實ハ然ラス、タ、己カ家隸ノ多キト、器仗ノ美ナルヲ、世人ニ誇リ示ス爲ナリ、今時ノ太平ナレハ、途中ニテ不慮ノ變起リ、四方ヨリ引包ンテ討取ト申ス、凡ハ、曾テナキト云フハ、誰モ知ラ、又者ハナシ、人君イカニ其身ヲ重シ玉フ、凡夫追ノ心遣ハシ玉ワス、唯諸侯ハ、カクアルヘキ筈ト云追ノ、ニテ、其本ハ、全ク是誇張ナリ、國君如此ナレハ、家中ノ諸士モ、亦其真似ヲメ、有リモセ、又家隸ヲ

雇ヒ、无用ノ人數ヲ召連レ、仰山ナル容躰ヲナメ  
互ニ相誇ル、鄙諺ニイワユル、食スノ揚枝ヲ使フ  
ト云フモノナリ、今時何事モ、外聞々々ト稱シテ、  
世間ヲ張り廻シ、持ヌ物ヲ持タルフリヲ爲ス、江  
戸ノ事ハ勿論ナリ、參觀道中ニテモ、宿屋驛所ニ  
テ、金銀ヲ遣ヒテ、人ノ耳目ヲ張り、口ヲキカスル  
ヲ眉目トス、其費莫大ニシテ、國家ノ困窮ハ、皆ユ  
レヨリ起レリ、今時如何ニ儉約ヲ務ル凡、此誇張  
ノ態ヲヤムルニ非スノハ、國ノ富ト云フハ、決メ  
ナキナリ、

第三ニ、諸事秘密閉固スルナリ、目見ノ時、人君ノ  
面ヲ見ナシテ、又言ヲモカケ玉ワヌ、一概  
ニ尊倨ノミニ非ス、秘閉ヨリ起レリ、若面ヲ見セ  
タラハ、退テ男振ノ善惡ナト評判セン、イカ、  
ト思ヒ、言ヲカワシタラハ、其中ニ粗末ノナリ  
テ、尤ヲ見出サンカト云フ心遣ヒナリ、外出ニモ  
必乘輿ニテ面ヲ見セス、聊ノ事ニモ、取次ヲ用ル  
ナリ、皆シカリ、又人君ノ行事ハ、一々記録メ、後ニ傳

ヘキナナルニ、記録ト云フナク、祖先以來ノ一、一切分ラヌ様ニナリ、子孫ノ心得ニナラヌ、是皆十ニ一モ惡キナリテ、人ノ口ニ掛ランカト云心遣ナリ、俗諺ニ、惡事千里ト云ヘリ、物ヲ一概ニ諱ミカクセハ、善事ノミ隱レテ、惡事ハ却テ見ル、他國ノ人ハ姑ク、國中ノ臣民ハ、皆己カ子モ同様ナルニ、如是ニ秘密閉固ノ、其身敵陣ノ中ニアル如ニ仕玉フハ、如何程カ心苦キ振舞ナラスヤ、且人ハ萬物ノ靈ナレハ、草木ト同朽ルヲ耻

テ、何ナリ凡、後ニ名ヲ傳ル様ニ心掛ルヲ、吾輩卑賤ノ徒追モ、皆其心得ナリ、況ヤ高貴ノ身ニ於テヤ、タトヒ惡キナリテ、人ニ嘲ラル、凡、一向ニ名傳ラス、草木ト同ク朽ルニ比スレハ、豈大ニ勝ラサラニヤ、凡如此ノヲハ、必シモ人君ノ意ヨリ出ルニ非ス、臣下ノ計ラヒニテ、是非凡其通りニスルナリ、其故ハ、君ト下民トノ間近ク、互ニ相知ル時ハ、姦臣アリテモ、其中ニ於テ、邪計ヲ行フヲ成リ難シ、故ニ君ヲ勸メテ、務テ自閉藏セシメ、下

民トノ間ヲ隔ル様ニスルナリ、秦ノ趙高カ二世  
皇帝ニ勸テ、宮中ニ深ク居ラシメ、臣下ニ面ヲ見  
セス、聲ヲ聞セヌ様ニセシメテ、終ニ弒逆ヲ行ヒ  
シ、古今同轍ナリ、但シ今時ハ、臣下タル者、一々  
姦計ヲ存ルニモ非サレ、凡、文盲ナル僻ニ、大名ハ、  
是非カクアル可シト心得タル者モアリ、畢竟人  
君ニ不利ナル、一ニ、又家老以下モ、其風ヲ見習ヒ、  
同列ニモ容易ニ對面セス、諸事掩ヒ藏スヲ至ト  
ス、國中ノ事サハ、如此ナレハ、鄰國ニ對シ、尚更

ナリ、今時何方モ、武士ヲ他國ニ出ス、一ヲ忌嫌フ、  
是ハ國ノ虛實ヲ他方ニ明サレカト云フ心遣ナ  
リ、今時天下混一ノ同ク一君ニ奉スルノ時ナレ  
ハ、戰國割據ノ時ニ比ス可ラス、國ノ事他方ニ漏  
レタルトテ、何程ノ一カアルヘキ、夫士大夫ハ、四  
方ノ事ニ任スル身ナレハ、間暇ナラハ、日本國中  
ヲモ遊歴サセ、世上ノ様子ヲ見聞サセタルコソ、  
事アル時ノ用ニ立ツヘキ、一ニ、假初ニモ、門外ニ  
出サス、處女ヲ育ツル如ニスル、一、理ニ當ラス、凡

秘閑ハ、誇張ト相反ヌ、其病根ハ一ナリ、誇張ハ、ナ  
キ物ヲアル様ニ見セ、秘閑ハ、アルコトヲナキ様ニ  
執成ス、其偽ヲ飾ルニ至テハ一ナリ、今時イカナ  
ル良策ヲ施ス、秘閑ノ風儀ヲ改ルニ非サレハ、君  
臣上下ノ間隔リテ、其内ニ姦計ヲナス者アリ、良  
策モ却テ惡策トナルナリ、

第四ニ、門地ノ高下ヲ論スルコトナリ、門地ヲ論ス  
ルハ、先祖ノ美ヲ舉テ、子孫タル者ニ、先祖ヲ辱メ  
サル様ニ出精セシムル道理ナレト、今ハ其益ハ

少メ、害ノミ多キニ、ソレ門地ノ高ハ、先祖ノ功多  
ニヨリ、卑キハ、先祖ノ功少キニヨレリ、其先祖ト  
云ハ、何レモ百年二百年以前ノ人ナリ、互ニ門地  
ヲクラヘ合ハ、死タル人ニ相撲ヲ取ラセ、己ハ其  
傍ニ立テ、行司ヲナメ居ル心ナリ、一生畧如此ノ  
コトヲ爲タリトテ、現在ノコトニハ、何ノ用ニモ立ス、  
叔門地高レハ、不才不徳ニテモ、耻ルニ及ハスト  
立テ、一切ノ藝業ヲ修セス、門地卑レハ、才徳藝能  
アリテモ、貴フニ足スト立テ、一切ノ能者ヲ用ヒ

ス、風俗如此ナレハ、大ニ國家ノ害トナル也、今時  
諸國此風盛ニシテ、其身數千石ノ大祿ヲ食ミナ  
カラ、不才无能ニメ、君ノ役儀ヲ務メス、且之ヲ耻  
恥思ワス、唯系圖ノ咄ノミヲシテ、月日ヲ送ル者  
多シ、シカノミナラス、下ニ器量ノ者アリテ、主君  
ヨリ格別ニ取立玉フテアレハ、門地ヲ申立テ、合  
從ノ之ヲ拒ミ、其君ヲモ劫スニ至ル、主君モ、家中  
一統ノヲナレハ、之ヲ如何ニスルヲナク、枉テ之  
ヲ忍ヒ玉フテ多シ、凡門地ノ沙汰盛ナレハ、上ノ

威光薄クナルナリ、其故ハ、位階、上ヨリ賜リク  
ル物ナリ、門地ハ、其家ニ附タル物ニ、門地卑レハ、  
位階高ク、氏、貴フニタラスト云フニナリテハ、上  
ヨリ下ヲ取立ル方モナクナリ、人モ思マ、ニ使  
レヌナリ、王室ノ中此、執政家ノ權盛ニナリ、風  
俗如此ニアリシヨリ、王室遂ニ衰タリ、此弊俗  
改ルニ非レハ、能者進マズ、如何ナル良策アリト  
テモ、施シ難シ、

第五ニ、先格ニ因循スル事ナリ、今世ハ、何事モ先

格ト云フヲ推立テ、事ヲ取料ラウ、先君ノ法ヲ固ク守ル様ニテ、手厚キコトニ聞ユレ凡、其實ハ苟且ニシテ、姑息ヲ務ルヨリ生スルニ、先君ノ法ト云モノハ、開國ノ君、又ハ其後ノ君ニテモ、遠ク國家ノ憂ヒ、子孫ノ末ヲ慮ラセ玉ヒ、千思萬慮ヲ加ヘテ、法度ヲ建立シ、永々臣子タル者ノ守ヘキ筋ヲ定メ玉フ、是ヲ先君ノ法トイフ、今時ノ諸侯ハ、創業ノ君ハ、或ハ卒伍、或ハ庶民ノ内ヨリモ出タル人アリ、千辛萬苦シテ、戦功ヲ建テ、國土ヲ領シ

玉ヒ、天下太平ノ後ハ、程ナク世ヲ辭セラレテ、後ノ法度ヲ立ルニ暇アラス、二世三世ノ君ハ、其比戰國ノ砌ニテ、我邦ニ文學未タ行レサル時ナレハ、成ヲ守ルノ難キコトヲ深ク知り玉ハス、唯舊例ニ因循メ、事ヲ處置スル而已ナリ、古ヘ律令格式ト云フ名目アリ、格ト云フモアル事ナレトモ、今ノ格ト云フモノハ、一口ニイヘハ、皆例ナリ、タタ先ニアル例ヲ引テ、其通ニスルコトニ、其例ト云モノ、先君深ク慮テ定メ玉ヘル事ニアラス、喩ハ、



鄺食其カ漢ノ高祖ニ始テ見シ時、高祖牀ニ踞テ、  
兩女子ニ足ヲ洗セナカラ、逢レシト云フアリ、是  
ヲ武家ノ格ニスレハ、其後鄺氏ノ人カ目見スル  
時ハ、君ハイツモ牀ニ踞ケ、前ニ盤ニ水ヲ入レ、女  
子兩人、左右ニ畏テ居ルト云様ナルト云フ、是後  
ノ人、義理ノ當然ヲ以テ事ヲ處スルト能サル故  
ニ、先例ヲ考ヘテ、其通ニサヘスレハ、申譯ハ立ツ  
ト云心ナリ、本其事ニ身ヲ入レス、心ヲ勞セスノ  
スルトナリ、其事カ二度三度重ナレハ、其例愈キ

マリテ、先君ヨリ不易ノ法ト定メ玉ヘル様ニ、人  
皆思フナリ、今時ハ、其格ト云モノ、金鐵ヲ以テ鑄  
固メタル様ニナリ、タトヒ國家疲弊ノ滅亡ニ及  
ビ、息ノアル限りハ、格ハ崩サレヌト心得タリ、先  
年此迄國ノ諸侯、式日禮ヲ受ケ玉フ時、一人袂ヨ  
リ鼻紙ヲ落メ座ヲ起チタリ、其次ニ禮ヲスル者、  
一人ツ、來テ、皆紙ノ上ニ額突ケリ、見苦シキハ  
限りナカリシニ、一入紙ノ上ニ手ヲツキ、紙ヲ手  
ノ裡ニ隠メ退キタリ、禮畢リテ後、紙ヲ落セシ者

ハ、差控へ申付ラレ、拾シ者ハ、褒賞アリシナリ、今ノ先格ニ拘ル者、皆落タル紙ヲ拾フニ心付ヌ類ナリ、若英主アラハ、先ツ此弊ヲ改メ玉フヘキ之、不然レハ、イカナル美政モ行レ難シ、

第六ニ、文盲不學ナルヲナリ、是ハ今更ラ改メテ申ニ及ハス、且儒生ノ口ヨリ、左様ノコトヲ申セハ、己カ得手ノ筋ニ引落ス様ニテ、聽人ノ信仰モ薄キコトナレト、何分ニモ、申サテ協ハヌ之、前ニ述タル五ノ弊習モ、此所ヨリ起リ、又其弊ヲ改ム

ルモ、此所ヨリスルニ非レハ、功ヲナシカタシ、今時國々君ト世子トニハ、侍讀ノ職アリ、國ニハ、學校ノ設ケアリ、文學ヲタツトフ、無キニハアラ子氏、其方法宜キヲ得サル故ニ、無益ノコトトナルニ、其法ヲ改ムルヲハ、下ノ學制ノ條ニ此ヲ審カニスル故コ、ニ贅セス、ソレ拔群ノ英雄ハ、學問ヲ待スノ、見識ヲ具ルハ勿論ニ、通例ノ人ニモ、文盲ナレト、才氣アリテ用ニ立ツ者アリ、學問アレト、迂緩ニ用ニ立ヌ者アリ、是无學ノ人ノ口

實トスル所ナリゾレハ、其人ノ性質ノワサニメ、  
學問ニハヨラス、試ニ才氣同ノ、一ハ无學、一ハ有  
學ノ人ヲ、クラヘ見ヘシ、學問ノ効ハ、明白ニワカ  
ルニ、總テ文盲ナル者ハ、古今ノ變ニ達セス、其ノ  
聞見スル所、已カ生來三五十年ノ間ノ事ナリ、故  
ニ今時ノ風俗ヲ見テハ、日本開關來ノ事ト思ヒ、  
又異國ノ事トテハ、少シニテモ、其レヲ取り用ユ  
ルヲ、耻辱ノ様ニ思フ、又治亂興衰ノ理ニウトク、  
世畏ハイツ追モ、今ノ通りノ者ト心得ルヲ、少々

ノ才知アル者ト雖モ、免レサル所ナリ、如此ノ人  
ヲ概メ俗人ト名クルナリ、只今ノ通り一テ、日々  
ニ流レ渡リ、後ノ事ヲ不顧ハ、只眼前ノ日用ニ立  
ツ者ヲ使テ濟コトナリ、若シ深ク國家ノ患ヲ  
モシハカリ、衰ヘヲ變シテ盛リトシ、危キヲ變シ  
テ安キトナサレトナラハ、古今ヲ知り、物理ニ達  
スルニ非レハ不可シ、二百年來、諸國ニ明君ト稱  
スル君多シ、其中ニ、一箇ノ學ヲ好サル人アリヤ、  
是世人ノ遍ク所知ナリ、故ニ君相ハ勿論、一家中

ノ者ニ學ヲ好マシムル様ニ風教ヲ施スヘキニ、  
以上ノ六弊ハ諸國一同ノ風俗ヲ指シテ言ナリ、  
此外ニモ言ヘキコトハ有ヘケレト或ハ其君ニ  
限リ或ハ其國ニカキリタルト多シ只此六弊ハ  
諸國一轍ニシテ其中ニ成長シタル人ハ知愚トナ  
ク邪正トナク皆其弊ヲ免カレス故ニ之ヲ揭タ  
ルモノナリ世ノ經濟ヲ論スル者只制度ノ末ヲ  
論シテ此所ニ心ヲ用イサルト其本ニ暗キナリ、  
孟子曰人不足與適也政不足與間也惟大人爲能

格君心之非ト此語ノ大意ハ人君ニ物ヲ云トキ、  
其用玉フ人ノ善惡ヲ云ニ及ハス政事ノ得失ヲ  
論スルニモ及ハス唯君ノ心ノ底ニ思召違ヘラ  
レタル處アリ其處ヲ得ト論シ諭セハ一切ノ  
皆其内ニコモルトニコレ余カ最初ニ六弊ヲ論  
スルユエレナリ當時如何ナル良策ヲ施シタリ  
ト君タル人底意尊倨ヲ好ミ誇張ヲ勉メ秘閉ノ  
態ヲ改メス門地ノ習ヒヲ變セス故格ニ因循シ  
テ不學文盲ヲヨキ事トシ至ハニハ家老以下

モ、又其心得ナルヘシ、其通りニテ、只今世ニ流行  
スル身代直シナト言フモノヲ召抱ヘテ、困窮ヲ  
免レレトセハ、彼イカニ内ニ在リテハ、范蠡計然  
カ妙術ヲ廻ラシ、外ニ向テハ、蘓秦張儀カ詭辨ヲ  
振フ所、少々ノ金銀ヲ得テ、一時ノ急ヲ救フハ  
アルヘシ、永久國家繁昌ニメ、君臣安堵スルハ  
アルマシキナリ、但シ右ノ弊習ヲ改メテ、風俗ヲ  
移シ易ルヲ、允庸ノ人ハ、決メ能サルヲナレ所、明  
君英主ニ於テハ、易々タルヲナリ、本ヨリ艱難困

苦ヲスル訣ニハ非ス、唯一種ノ流俗ヲ抜ケ出タ  
ル見識サヘ有レハ、掌ヲ反スヨリモ易キヲ所ナ  
リ、

迂言國本乾上終

迂言

君道二

君ハ國ノ本ナリ、君正ケレハ、正カラサル者ナキ  
ハ、古今ノ常理ニテ、五尺ノ童子モ知ルヲナレハ、  
此ニ詳ニセス、因テ前ニ論セシ六弊ノコト、先ツ  
君ヨリ之ヲ改メテ、臣下ニ及シ玉フヘキナリ、就  
中尊倨秘閉ノ兩條、最初ニ之ヲ改ムルニ非ハ、  
一切ノ美政、取行カタシ、當代太平ニ赴キテヨリ  
以來、諸侯英主ト稱スル君、往々アリ、其行事記録

迂言 君道

乾中 一

二モ、人口ニモ傳ヘタリ、其内ニ、此兩ツノ態ヲナ  
ス人嘗テナシ、何レモ、賢ヲ禮シ、老ヲ敬シ、下民ニ  
相親ム、父子ノ如クナリ、其行狀、文盲ナル者ニ  
聞カシメテハ、何分ニモ、實事トハ思ハレス、只虛  
言ヲカサリタル様ニ聞ユルナリ、是古今ノ變ニ  
達セス、英雄ノ心ヲ知ラサルカ故ナリ、今ニツノ  
弊ヲ改ルニハ、先ツ君ヨリ務テ下ヲ親ミ近ケ玉  
フヘキナリ、清ノ乾隆皇帝ノ言ニ、朕ハ萬民ノ父  
母ナリ、子タル者、父母ノ面ヲ識ラスンハアルヘ

カラストテ、巡狩ノ時、道ノ兩邊ニ、土民ヲ殘ラス  
坐ラセ、其身馬ニ騎テ、其中ヲ通り、下民ニ命シテ  
得ト其面躰ヲ仰キ見セシメラレシトツ、蠻夷ノ  
人ナカラ、流石ニ中國ニ君トシテ、其民ヲ歸服セ  
シメシ程アリテ、其度量感心スヘキナリ、和漢  
ノ風俗同シカラサレハ、我國ノ天子ハ、彼國  
ノ天子ノ様ニハ有マシケレ、凡諸侯杯ハ、先ツ其  
位ニテ宜シカルヘキナリ、然ラハ、目見ヘノ節ノ  
儀式、外出道中ノ式、大臣右ノ處ヨリ慮テ、舊例ヲ

變シテ新制ヲ始メ、中庸ノ法ヲ立テ、之ヲ孫子  
ニ貽シ玉ハンコアラマホシキコナリ、  
人君國中通行ノコ、今時ノ太平ナレハ、儀衛ヲ省  
畧シ玉ヒテ然ルヘキナリ、大國ニテ言ハ、近行  
ハ、僕從十四五人、一宿以上ノ所ニハ、三十人程一  
テ苦カルマシ、小國ハ、夫ヨリモ減メ可ナリ、途中  
或ハ乘輿、或ハ馬上、時アリテハ、步行モ宜シカル  
ヘキナリ、君トテモ、格別仰山ナルコハ、好ク玉フ  
ワケニテハナシ、隨分手輕クシテ、屢往來シ、下々

ノ様子ヲモ、熟覽シタク思召サル、コ、是人情之  
只先格ト云物ニカラメラレ、今迄ノ通ナリ、若英  
主アリテ、其處ヲ看破シ玉ハ、僕從ヲ減省スル  
コトモ、下民ヲ親ニ近ルコトモ、難キニハ非サ  
ルナリ、

國君ハ、國中ヲ殘ル處ナク巡檢シテ、山川ノ要害、  
土田ノ肥瘠、人民ノ風俗等、精シク諳シ玉フヘキ  
ナリ、且巡檢中、其所々ノ故老ヲ召サレテ、親ラ其  
内ノ故事、或ハ民ノ難苦ヲ尋訪ヒ、又孝悌力田等



ノ者アルハ、目見ヘ仰付ラレ、褒詞賜物等アリ、是  
下民ニ親ミヲ結フノ道ニシテ、且鬱散ニナリ、保  
養ノ爲メ宜キニ、

古語ニ、君ハ父母ノ如ク、民ハ子ノ如シ、未タ子富  
テ父母貪キ者ハアラスト云ヘリ、然ルニ、今時ノ  
諸侯、府庫空虚ノ、燃眉ノ急アレ、民ハ格別ニ其  
事ヲ苦ニセス、有ル物ヲ隱メ、用金ノ調達ヲ、成丈  
セヌ様ニスル、下ニ罪ナシ、申難レ、畢竟上  
タル人、父母ノ恩愛ナキ故ニ、下モ亦子タルノ道

ヲ盡サヌナリ、凡下タル者ハ、其上ヲ愛敬スレハ、  
天理ノ常ニシテ、愚民ト雖、其情ナカラレヤ、  
今モ國君、或ハ高貴ノ人ノ手ニ觸レラレタル器  
物、又ハ、其筆跡類ヲ得レハ、之ヲ神躰ノ如クニ尊  
崇シ、之ヲ以テ狐付キヲ落シ、瘡ヲ落ナト申立テ、  
寶物トスル、一統ノ下ニ、若其人ヨリ言ヲ掛ラ  
レ、或ハ格別ノ懇志ニ與ルコトアレハ、有難ク思  
フ、ハ心肝ニ徹シ、身命ヲモ惜マス、况ヤ財用、  
ヤ、近ク譬ヲ取テイハンニ、今時佛門ニ、一向宗ト

イフモノ、至テ繁昌ナルモノナリ、其檀越タル者、  
金銀ヲ惜シマスシテ、寺院ニ寄附セリ、故其本山  
ノ主ハ、一尺ノ土地ヲモ有セサレ、其富ハ大國  
ノ君ニ過タリ、政ヲスル人ハ、夕、彼レ地獄極樂  
ノ説ヲ以テ、愚民ヲ劫スユヘ、如此歸依スルトノ  
ミヲモヘリ、是其一ヲ知テ、其二ヲ知ラサルナリ、  
彼ノ教トテモ、金銀ヲ本山ニ賂ハサレハ、淨土往  
生ハ叶ハストハイハス、只此方ヨリアリカタク  
思ニヨリ、是ノ如ニスルナリ、又其難有思フ、盡ク

淨土ノ説ヲ信シタルニモアラス、本山ノ主タル  
モノ、位階頗貴ク、權勢頗盛ナリ、然レ、ヨク匹夫匹  
婦ヲ親シ、或ハ相見ヲ許シ、或ハ手カラ剃度ノ式  
ヲ行ヒ、其外種々ノ所作ト、言説トヲ以テ、親ヲ結  
フ、其所ヲ卑賤、身ニテハ、至テ冥加ナルトニ思  
フヨリ、財ヲモ惜マス、身ヲモ惜マス、聖人ノ語  
ニ、悦以先民、民忘其死ト云フ、當時佛者ノ其  
意ヲ得テ、國家ヲ有スル人ハ、却テ其智ニ及ハサ  
ルナリ、今ニモ、人君小ク尊倨秘閉ノ故態ヲ變シ

テ、民ヲ親ムノ心アラハ、モトヨリ己カ上ニ戴ク  
人ニシテ、現在ニ死生榮辱ノ命ヲ制スルヲナシ  
ハ、淨土ノ説ノ荒唐タルカ如キニアラス、何ソ愛  
敬セサラシヤ、但シ民ノ金銀ヲ取ヘキ爲ニ、親ミ  
ヲ加ヘ玉ヘト言ニハ非ス、民ヲメ上ヲ親ミシム  
ルヲ、國ヲ保ツノ要道ナレト、今時ノ人、其處ニ疎  
キヲ言レトシテ、此喻ニ及フナリ、

今時諸國困窮ニ及フヲ、皆參觀ニ付テノ費用多  
ニヨレリ、近來儉約ヲ勤ムルノ説盛ニ興リ、道中  
ノ供廻リヲ省畧シ、ナヲ又江戸勝手ノ家隸ヲモ  
減スルヲニナリテ、イカニモ、其効ナキニ非レト、  
兎角如是ノヲスレハ、外聞惡キ故、儉約モ年數  
ヲ限リテコレヲ勤メ、數滿レハ、モトニ反ス、其後  
ハ、又漸々ト世上ニツレテ、奢靡ニ流レ、困窮ハ、以  
前ヨリモ陪スル様ニナルナリ、何レ明君英主ア  
リテ、奮然トシテ、非常ノ舉ヲナシ、世上ノスル所  
ニ拘ラスシテ、永久不易ノ良法ヲ立テ玉ハ、困  
窮ノ源、長ク塞ラント思フナリ、夫レ唐土封建ノ

世ニモ、述職ノ一ハ有レ、此レハ參覲ノミニテ、  
都下ニ滯留スル一ハナク、又人質ヲ差シ出ス一  
ナシ、今ハ、諸侯ノ妻子ヲ人質トシ、其身モ一年替  
リニ交代アリ、半ハ都下ニアリ、半ハ其國ト、道中  
ニ在ルナリ、是其費用莫大ナル所以ナリ、仍テ私  
ニ思フニ、妻子ヲ人質ニスル一、上ニ對シテ、二  
心ナキ所ヲ明スタメナレハ、諸侯自カラ其身ヲ  
以テ質トシ玉ハ、此ニ過タル丹誠ハ有レシキ  
ナリ、然ラハ、都下ニ近キ國ハ姑ク置ク、遠國ニ三

百里以上ノ所ハ、一向家督ノ間ハ定府ニテ、退老  
ノ後ニ歸國シ玉ヒタル一、宜シカルヘシト思フ  
ナリ、其大意ヲ云ハ、國君二十ニメ世ヲ繼、家督  
二十年ナラハ、年四十ナリ、然ハ、世子已ニ二十ニ  
及ヒ玉フヘシ、乃世ヲ讓リテ國ニ歸、國政ヲ取行  
ヒ玉フヘシ、如此一又二十年ナレハ、當君ハ四十  
老侯ハ六十ニ成セ玉フ、ユ、ニ於テ、當君又世子  
ニ讓リ歸國シテ、老侯ニ替リテ政ヲナシ、老侯ハ  
大老侯トナリテ、萬事ヲステ、閑暇安樂ヲ以テ日

ヲ送り玉フヘシ如此ニ定ムレハ、國君一生ノ中、  
夕、一度ノ往返ニテ事スミ、道中ノ費大ニ減ス  
ヘキナリ、扱一國ノ政務大トナク、小トナク、一切  
老侯ノ手ヨリ出テ、當君ニ伺ハス、當君ハ夕、都  
下ニアリテ、御公儀ニ御奉公ノ筋ノミヲ專一  
ニシ玉ス、左スレハ、隔年ニ出府シ玉フヨリハ、  
上ニ對シテノ勤ハ、一陪行届キ、コレニ過タル忠  
誠ハ有マシキナリ、若其意味ヲ以テ、格別ニ申立  
テアランニハ、上ニモ御許容有ヘキナリ、

夫婦室ニ居ハ、人ノ大倫ナリ、今ノ諸侯、其國ニ歸  
老シ玉ヘハ、夫人ハ都下ニ留、終身相見ノ期ナシ、  
公恣トハ申シナカラ、人倫ノ變ニシテ、心ヲ傷シ  
ムヘキ事ナリ、若シ前説ノ如ナラハ、夫人モ王君  
歸老ノ時ハ、一同ニ歸國シ玉ヒ、都下ニハ、當君夫  
婦居玉テ事スムナリ、公子ハ、出生ニ隨ヒ、追々ト  
本國ニ送歸シ、老侯ノ手ニ生長アラシメ、學校ニ  
モ出席シ玉フ様ニスヘシ、女公子ハ、都下ニ於テ  
嫁シ玉フ事ナレハ、邸内ニ留メ玉トモ可ナリ、凡

婚嫁ノ事ナル、大、小國ト取リ結フヘキナリ、其故ハ、當時諸侯ノ婚姻、互ニ家格ヲ申シ立、奢靡誇張ヲ務ニヨリ、其費用莫大ナリ、小國ナレハ、彼ノ方ニ誇張ノ心ナキニヨリテ、此ノ方ニモ、其心不生、又國ノ格ニ因テハ、女公子ヲ家老ノ家ニ賜ハル事モアリ、尤シカルヘキ、一ニ、凡大國ト縁ヲクム、一、亂世ノ一助ニ成ヤウニ思モノ有レ、全ク不然、亂世ハ、父子兄弟ト雖、恃ミ難シ、婚姻ヲ恃テ滅亡セシ、一、古書ニ歷々タリ、又治世ニテハ、音信贈

答ノ費ノミニシテ、ナレソ益モナシ、且ソ今時ノ弊習、諸侯ノ夫人タル者ヤ、モスレハ、本國ヨリ多ノ奴婢ヲ擄行キ、夫ノ家ニテ、本國ノ格ヲ申シ立、彼ノ方ノ命ニ順ハス、召使ノ者、互ニキミヤイテ、閨門ノ内ノ往復、隣國トノ取ヤリノ如シ、知レテ、此弊俗ハ、信ニニクム可クナリ、英主アラハ、キツト其弊ヲアラタメ、家風ヲ建立シ、玉ヘキナリ、閨門ノ内正ク、婚姻家ノ交リ禮ニカナヒタラハ、無用ノ費ハヨホト省ク可キナリ、

今時諸侯誇張ノ態ヲ專ラニセラル、一皆都下ヨリ起レリ、是ハ三百ノ諸侯、都下ニ任シ玉ヘル故、太平久ニ從ヒ、互ニ奢靡ヲ競ヒ、少シニテモ人ニ負ケシトスル、必然ノ勢ナリ、人情ノ常ニシテ、怪ミ充ムヘキ、一ニ非、若其弊風ニ染ムマシキトナラハ、一邱ノ法度ヲ堅ク立、少シモ世上ニワレ立タサル様ニシ玉フヘキナリ、ナヲ又君タル人ニ、學問ヲ勸メテ、一種ノ俗見ヲ脱シ玉フ様スヘキナリ、ソレ諸侯ハ、大小ニヨラス、皆人君ナ

リ、古唐土封建ノ時ハ、天子諸侯ヲ合シテ、人君ト稱シ、士大夫ヲ人臣ト稱ス、天子ト諸侯ト、位ニ高下アリト雖、其人君タルハ一ナリ、後世變シテ郡縣トナル、是ニヲイテ人君ト稱ルハ、天子ノミナリ、三公九卿ヨリ以下、皆人臣ニシテ、其家アルノミニテ、民人社稷ヲ有セス、古封建ノ時ニ比スレハ、タ、士大夫ノ分限ニシテ、諸侯トハ雲泥ノ違ヒナリ、我邦ハ、古ハ郡縣ナリ、故ニ人君ト云モノハ、天子一人ニシテ、大臣ヨリ以下、皆人臣ナ

言 卷道  
リ、當時封建ノ制行レテハ、御公儀ヲ初メ奉リ、  
諸侯萬石以上ノ人ハ、皆人君ナリ、夫レ人ノ君タ  
ルハ、信ニ天ノ重祿ナリ、區々ノ一身ヲ以テ、餘  
多ノ土地ヲ掌握シ、山河ニ據リ有千、億萬ノ人民  
ノ生殺與奪ヲ掌リ、一草一木一魚一蟲ノ微ナル  
マテ、皆其威令ヲ受サルハナシ、如此ノ天祿ヲ受  
ルハ、豈容易ナラシヤ、人君ニ生タル人ハ、信ニ自  
ラ重スヘキナリ、然ルニ今ノ諸侯、其身人君ノ  
重キニ居ナカラ、却テ爵號ノ虛名ニヒカサレ、轉

任ト云フニ望ミアリ、種々ノ手入ヲナシ、多分ノ  
財ヲ費シ玉フヲ口惜ク思フニ、諸侯タル人ハ、  
唯々上ヨリ國土ヲ賜ノシ所ノ御恩ヲ深感メ、  
爵號ノハ望ヲヤメ、何ニテモ、上ヨリ授ケ玉  
フ者ヲ頂戴シ玉フヘキナリ、其外衣冠儀衛ノ飾  
リナトモ、少シノ差別ヲ論シテ、互ニ甲乙ヲ争フ、  
都テ箇様ノハ、上ヨリ大名旗本御家人ナト  
ヲ、鼓舞シ玉フ一術ナリ、通例ノ人ハ、左様ノ處ヨ  
リ出精メ、奉公ヲモ勵ムヘシ、學問ノ道理ニ達シ



タル人ハ何ソ如是ノ筋ニヨリテ、上ニ事ル道  
ヲ、勤メモ怠リモスルヲハ、有マシキニ、右ノ處ニ  
了見ソク時ハ、誇張ノ情、自然ト薄ラキ、都下一統  
ノ弊習ヲ免ルヘキニ、

唐土古ハ封建、今ハ郡縣ナリ、我邦古ハ郡縣、今  
ハ封建ナリ、封建ト郡縣トハ、人情風俗、一切カワ  
リタル事ナリ、郡縣ノ時ノ士大夫ト云者ハ、浮雲  
ノ如ナル物ニテ、朝アリテ夕ナク、三公宰相ニ至  
ルトテモ、一尺ノ土地、一介ノ人民ヲ有セス、富貴

ハ、一代カキリニシテ、子孫ニ傳ヘス、故ニ意ヲ得  
ル時ハ、奢靡ヲ恣ニシ、歡樂ヲ盡シ、身死レハ、家モ  
亦亡ナリ、封建ノ人情ハ不然、人君ハ、民人アリ、社  
稷アリ、己カ一身ノ歡樂ヲ慮ノミナラス、國家ノ  
謀子孫ノ慮、片時モ忘ヘキニアラス、士大夫ト雖  
凡、家ヲ世ニシ、祿ヲ世ニスルヲナレハ、其憂ハ、國  
君同様ナリ、然ニ今時ハ、封建ナレ凡、諸侯都下ニ  
集リ住シテ、殆ト都下ヲ以テ己カ家トスルニ近  
シ、故ニ、郡縣ノ時、公卿皆 帝都ニ集シ形ニ似テ、

其國ト民トニ遠リタル故其事ヲ深ク慮ラス、唯眼前自己ノ身ト家トノ事ノミニテ、都下ニテ人ノ見聞スル所サヘ見事ナレハ、面目此上ナシトメ家中ノ困窮、百姓ノ疲弊ハ、諸侯第一ノ不外聞ナレ氏、其所ニハ心ツカス、唯一時ノ侈ヲ恣ニス、是郡縣ノ敝俗ト相似タリ、唐土晋ノ時ニアタリテ、王愷石崇カ輩、侈ヲ恣ニシ、互ニ相誇シテ、人ノ能知ルトコロナリ、如此ノ輩ハ、イカホトノ侈ヲナシテモ、唯其身ト家トヲセスマテナリ、今ノ諸

侯少ニテモ、左様ノ事アリテハ一日ノ娛ミハ、一國ノ困窮、子孫ノ難儀トナル事ナリ、此ノ所ヲ深ク慮リ玉ヘキナリ、

耻ヲ知ハ、聖人ノ教ニシテ、武門ニテハ、尤モ重スル所ナリ、然氏、耻ヘキ事ト、不可耻トトノ差別明ナラサル人多シ、諸侯ノ上ニテ云ハ、賦税多シテ、百姓逃散スルハ、耻ナリ、俸禄少メ、士大夫困窮スルハ、耻ナリ、武備缺テ、亂世ノ慮リ無ハ、耻ナリ、己カ臣下ヲ思通りニ使フ能サルハ、耻ナリ、人ノ物

ヲ借りテ返サルハ、耻ナリ、人君節儉ヲツメテ、  
宮室ヲ營マス、惡衣惡食シ玉ハ、耻ニアラス、無用  
ノ供廻ヲ減メ、下ヲ休シムルハ、耻ニアラス、身ヲ  
謙讓シテ、官階ヲ求メサルハ、耻ニアラス、國中ノ  
士民ノ困窮ヲ救フ至トメ、親族世間ノ音信贈答  
ヲ省畧スルハ、耻ニアラス、允ソ人ニ笑ル、ハ、耻  
辱ト立ルハ、俗人ノ見ナリ、唯智者ニ笑ハレヌ様  
ニ心カクヘシ、愚者ニ笑レタリトテ、由モ耻ヘキ  
事ニアラス、國君其所ニ心ツキ玉ハ、世トノ流

行ヲ逐テ、誇張ヲ務ムルヲハ、有ニシキ也、  
或曰、人君其身ヲ質素ニシテ、僕従ヲ多クセス、又  
謙損簡易ヲ至トシテ、士民ニ親ミ玉ハ、イカニ  
モ、上下ノ間ハ親クナルヘシ、然レモ、下民其上ヲ  
心易ク思モ、狎レ侮ツテ恐ル心ナク、終ニハ、政道  
ノ害トナラシ、答曰、上タル人、下ニ恐レラル、ハ  
只賞罰之權ヲ握ルニアリ、功ノアル所ハ、卑賤ト  
イヘモ、殘スヲナク、罰ノアル所ハ、大臣トイヘモ、  
避クルヲナク、且其賞罰、已カ手ヨリ是ヲ決斷シ

テ、ミダリニ人ニ委ルヲナシ、是ノ如クナレハ、平  
日何程謙損ニシテ、下民ヲ同輩ノ如ニシ玉フハ、  
彼レカ心ニ恐ルヲハ、鬼神雷霆ノ如ニ思フヘシ、  
若シ賞罰明ナラス、且其權ヲ人ニ委レハ、君ノ位  
ニアリテモ、木像ヲ上、段ニ飾タルト同様ノヲ之、  
何カホト僕從ヲ多シ、其身ヲ尊倨高大ニシ玉フ  
ハ、何ノ恐ルヲカアラセヤ、  
或曰、不虞ノ變ト云フモノハ、太平トテモアルヲ  
アリ、故ニ無用ノ僕從ヲモ容易ニハ省キカタシ、

且僕從ヲ多スルハ、此方ノ武勇ヲ耀ス爲ナリ、廢  
ス可ラス、荅曰、勇ト云モノハ、三徳ノ一ニシテ、武  
門ニテハ、第一ニ重スル所ナリ、然レ、目ヲ瞋シ、眩  
ヲ張テ、人ニ誇ルヲ勇ト思フハ、是其末ヲ知テ、其  
本ヲ知サルナリ、勇ノ本ハ、天命ヲ知ニアリ、凡人  
ノ死生禍福ハ、皆天命ニアルヲナリ、古ノ人生涯  
數百度ノ戰ニ出テ、遂ニ薄手モ負サル者アリ、又  
一戰ニ打死スル者アリ、又戰ニ出サレ、人ニ殺  
サル、者モアリ、是皆其人ノ天命ナリ、是人ノ智

惠分別ノ及フ所ニ非ス、故ニ我ハ唯義ニ於テス  
ヘキ程ノヲスル道ニ、其上ハ、天ヨリノ計ヒア  
ルヘシ、心遣無用ナリト、是ノ如ニ安心決定シタ  
ル處ヨリ、矢石ノ中ニ在テモ、恐ル、ヲナク、又高  
貴權勢ノ人ニ對ノモ、屈スルヲナシ、之ヲ真ノ勇  
者ト云ナリ、往年 御公儀ニヨイテ、世子ノ近臣  
タル者ニ、脇差ヲ差セマシト云説起レリ、若其中  
ニ亂心者カ、逆心ノ徒アラシモ、計リカタシト云  
時ニ松平伊豆侯、其説ヲ折テ、護衛ノ者カヲ帶セ

スノハ、用ニタ、ス、若其中ニ、亂心者出來ルヲア  
ルナラハ、 徳川ノ御運ノ末ト云モノナリ、人カ  
ノ及フ所ニ非ストイワレシヨリ、其評議止ミタ  
リ、是勇者ノ言ナリ、故ニ、物ヲ用心スルヲモ、大躰  
ニシテ置ヘシ、アマリ一過レハ、却テ臆病ニ落ル  
ナリ、我郷ニ物ニ恐ル、男子アリ、夜ハ、假初ニモ  
獨行セス、同行之人少クテモ、心細シト云ヘリ、或  
トキ、五人一同ニ夜行シタリ、於是四人前後左右  
ヨリ、取圍テ道ヲ行タリ、同行ノ者、彼男ニ向テ、如

此ニスル上ハ、貴君安心ナルヘシト云シニ、答テ  
頭ノ上カ油斷ナラスト言シナリ、今ノ貴人ノ所  
作、此男ニ類スルヲ多シ、之ヲ武勇ト云ヘシヤ、之  
ヲ臆病ト云ヘシヤ、

君徳ヲ正セント欲セハ、世子タル時ヨリ、心ヲ用  
ユヘシ、其事大畧學制ノ條ニ述タレハ、此ニ贅セ  
ス、古ヘ君ニモ、世子ニモ、師傅保ノ三ツアリ、今世  
子ニ、其任ヲ設ケ、君トナリ玉ヒテ後モ、其人ヲ其  
儘ニ用ヒ玉ハシテ、然ル可キナリ、三ツノ者、師充

モ重シ、傳之ニ次キ、保之ニ次ク、今時宜ニヨリテ、  
其制ヲ定メハ、世子五歳ニテハ、婦人ノ手ニ長シ  
玉ヘ氏、六歳ニ至ラハ、男子正シキ八柄ノ者ヲ擇  
ヒ、其側ニ差シ添ヘ、起居周旋ニ心ヲ附ケ、行儀正  
シク成長シ玉フ様ニスヘシ、是即保ナリ、十一二  
歳ニ至リ、授讀既ニ畢リ、講説ヲ聽キ玉フ所ニ至  
ラハ、然ル可キ儒者ヲ差シ添、經史ノ義理、古今ノ  
事變ヲ説カシメ、身ヲ修ムルヨリ、國ヲ治ムルニ  
至ル迄ノ方法ヲ知り玉様ニスヘシ、其任ニ當ル

者、即傳ナリ、十七八ニ及ハセラレ、追々國政ヲナ  
シ玉フ時ニ至ラハ、家老中老ナト大身ノ内ヨリ  
威望徳器アル人ヲ擇シテ、之ニ師トシ事ヘ、一切  
ノ行事、政務ノ處置、皆問ヒ謀リテ、其教ヲ受ケ玉  
フヘシ、是即師ナリ、君トナリ玉ヒテ後モ、右三人  
ノ者、心ヲ合セテ輔佐シ、若シ諫ヲモ納ルヘキ事  
アラハ、事ノ大小輕重ニ隨ヒ、三ツノ内ヨリ、申シ  
出ル様ニスヘシ、世子ヨリ、平日師ヲハ最モ重シ  
玉ヒ、内庭ニ於テハ、之ヲ上座ニ置テ、拜禮ヲモ行

ヒ玉ヒ、傳ハ、其一等下、保ハ、又其一等下ノ待イニ  
テ宜シカルヘシ、諺ニ、三ツ子ノ心百一テト云フ  
アリ、幼少ノ時、其人ヲ畏レ玉ヘハ、成長ノ後モ、其  
習イ残りテ、自然ト其人ノ言葉ナレハ、聽キ用ヒ  
玉フナリ、當時ハ、藝術ノミニ師アリテ、道ヲ學フ  
ノ師ナシ、一大缺事ナリ、今其事ヲ執行ヒ玉ハ、  
誠ニ美事ナリ、  
事古リタル申シ事ナレト、君ニモ、世子一モ、近臣  
ヲ擇フヘキナリ、格別ノ賢者ハ、容易ニ得ヘカラ

サレ氏、文武兩藝ニ於テ、相應ニ通達シ、且行狀正  
ニキ者ヲ、學校奉行ニ命シテ、之ヲ擇マセ、近臣ノ  
内ニ加フヘキ者ナリ、其事ハ、是亦學制ノ條下ニ  
述タリ、古 皇朝ノ時、學校ニテ選舉ヲ主リシ  
アリ、近臣善ケレハ、君モ世子モ、何トナク、其風  
化シ玉フ、必然ノ理ナリ、

迂言君道乾中終

迂言

禄位三

諸侯臣下ノ賦禄、國ニヨリ不同アリ、大抵少キハ、  
國ノ三分一、中ハ半、多キハ、三分二ニ及フヘシ、唐  
土封建ノ時ニモ、世禄ト云フアレ氏、禄ノ多少ハ、  
一世々々不同アリ、只不肖ノモノアリテモ、少シ  
ハ禄ヲ賜ヒ、士格ニ列シテ、廢人ニ落ヌ様ニスル  
ヲ、世禄ト云ナリ、我邦ノ制ノ如ク、千石ハ、世々  
千石、百石ハ、世々百石、歩卒ニ至ル迄モ、禄ヲ世々



ニスルヲ誠ニ上ヨリ祖先ノ勞ニ報ヒタマフ所  
アツキカ上ニモアツキト云者ナリ、臣タルモノ  
上ノ大恩ヲ知ラスニハアルヘカラス、抑當時諸  
國貧窮ニツキ、臣下ノ賦祿、或ハ其半ヲ減シ、或ハ  
面扶持ナト云フニナリタル氏、武士ノ身ナレハ、  
農工商ノ業ヲ營ムトモ成リ難ク、困窮此ニ極レ  
リ、上タル人モ、亦下ノ困苦ヲ知り玉ハスレハア  
ル可ラス、其本ヲ論セハ、國初ノ時、制度宜ヲ得サ  
ル處アルヨリメ後ニハ雙方共ニ迷惑ニ及ヘリ、

然レ氏、過去ノヲ論シテ益ナキヲナリ、今時家中  
ミナ知行處ヲ離レテ、城下ニ居住スル故、雜費ツ  
ヨク、貧窮ニ及フヲ先哲ノ委ク論セシ處ナリ、士  
ヲ知行處ニヲクフ、此近國ニモアルナリ、如何ニ  
モ、良法ニテ、軍用ノ時、知行所ノ百姓ヲメシツル  
ルニヨリ、兵卒ノ備、他國ニ數倍セリ、何卒諸國ニ  
モ、其法ヲ行ハセラレ然ルヘキヲナリ、但シ前ニ  
申セシ如ク、今時臣下ノ祿名ノミアリテ、其實大  
ニ減省スル故ニ、モシ知行所ニ引越シタラシニ

ハ、上ニ指支アルヘシ、是ハ知行所ニ於テ、獻米ヲ  
出サシムヘシ、此ノ如ニテモ、田舎ハ雜用減省ス  
ル故、城下ニ在ヨリハ、窮スマシキナリ、又役儀ニ  
任スルモノハ、必ス城下ニ出、是ハ役儀次第ニテ、  
或ハ高ノ中ヲ減シ、或ハ不殘是ヲ賜ヒ、或ハ足シ  
高ヲモ用ユヘキナリ、

太平久シク世祿ノ家ニ生レタル者ハ、無用ノ人  
多ク、卑賤ノ人ニ英才多ケレハ、之ヲ舉用ヒサル  
ヲ得ス、然レモ、上ノ賦祿モ、亦限リアレハ、新家

ヲ増ス、容易ニ非ス、故ニ、舊家ノ内、弱年或ハ、不  
才ニテ、役儀ヲ務サル者ハ、相應ニ獻米ヲ出サシ  
メ、其分ニテ有用ノ人ヲ召抱ユヘキナリ、新ニ召  
出サル者ハ、初ヨリ、役祿ト家祿トヲ分チ、役祿ハ  
退役限り召上ラレ、家祿ハ子孫ニ傳ユヘシ、役祿  
ハ多キヲ厭ハス、家祿ハ多クスヘカラス、  
位階ノ一ハ、上中下三等ト立テ、黒衣黃衣青衣ト  
ワカチ、一等ノ内ヲ、又三ニワケ、其紋所ヲ殊ニメ、  
九等ト定メタラハ、宜カル可キニ、凡今時士民共

ニ奢靡ニ長シ、其レヨリ困窮ニ及フ、服飾ニ制  
度ナキ故ナリ、此事ハ先哲ニモ論セシ人アリ、允  
ソ誇張ヲ務ムルハ、人情ノ常ナレハ、縱令堯舜ノ  
御世ナリトテモ、一向人ニ其心ノナキヤウニス  
ルト云フハ、出來ヌフナリ、只其情ヲ道ヒテ、害ヲ  
ナサシメサルヨリ外ハナシ、允ソ富貴ハ、人情ノ  
誇ル所ナリ、其内貴ニ誇ルハ、其害小シ、富ニ誇ル  
ハ、其害大シ、今服飾ニ貴賤ノ分チナク、上下一般  
ナル故、人皆美服ヲ飾リ、僕從ヲ多クシテ、其所一

テ已カ富ヲ顯シ、其富ニテ貴ヲ顯サントス、此レ  
風俗日々奢靡ニ流レテ、困窮ニ赴ク所以ナリ、今  
服飾ノ制ヲ定メ、貴賤ノ分チ一見シテ明白ナレ  
ハ、人皆美服ト僕從トヲ用ユルヲナク、無用ノ費  
ヘ大ニ減ス可キナリ、

當世武家ニテハ、禮服ハ麻上下ヲ用ヒ、常服ハ肩  
衣袴ヲ用ヒ、又羽織ヲ用ユ、是ハ上ハ公儀ヨリ、  
下ハ列國一統ノ事ナレハ、諸侯ノ私ニ改ムルヲ  
得サルトコロナリ、只衣服ノ色ノミハ、定制ナ

キナレハ、如何様ニモ、其國中ニ於テ、制度ヲ立  
テ、若シカラヌナリ、因テ試ニ其差等ヲ分タシ  
ニハ、家中上等ハ黒色、中ハ黄色、下ハ青色、庶人ハ  
縞ニテ純色ヲ用ヒスト定ムヘシ、且又當時ノ家  
ノ紋ト云モノ、門地ヲ表スルノ具ニシテ、日用ニ切  
ナラヌ者ナリ、姑ク之ヲ變シテ、階級ヲ分ツノ具  
トナシ、衣服ノ階級三等ニシテ、一等ノ中ニ、上中下  
ヲ分チ、紋ヲ九トヨリニシテ、是ヲ分ツヘシ、位階  
進テモ、服色易ラスハ、紋ハ上ヨリ張リテ用ヘシ、

左スレハ、途中ニテ行合ヒタル氏、十間モ手前ヨ  
リ、先ヲ服色ヲ見テ、黄色ハ黒色ヲ避ケ、青色ハ黄  
色ヲ避ヘシ、服色同クハ、近ヨリタル上ニテ、其紋  
所ヲ見テ、相當ノ會釋ヲナスヘシ、黄衣ノ者ハ、數  
十ノ僕ヲ從ヘタリ、氏、黒衣ノ無僕ナルニハ、ユヅ  
ルヘシ、青衣ノ黄衣ニ於ルモ亦然リ、大祿ニテ貪  
ナルモノハ、木綿ヲ黒ニ染テ用ユヘシ、其レニテ  
羽ニ重ノ、黄衣ヲ着タル者ヨリハ、何時モ上席ナ  
リ、黄衣ノ青衣ニ於ルモ亦然リ、如此スレハ、美服

ヲ競フ、自ラ止ムヘキナリ、  
右ノ如ク服色ヲ定タル上ハ、僕從ノ數ヲ限ルヘ  
シ、是ハ大國小國ニヨリテ、大ニ差等アルヲナレ  
ハ、一概ニ定メカタシ、今暫ク國守大名三十萬石  
内外ノ所ニ付テ説ヲ立レニ、今時ハ、大國小國共  
ニ困窮ノ最中ニテ、眉ヲ焚ヨリ急ナレハ、大國ト  
イヘ、時勢ニ從ヒ、小國同様ニ制ヲ立ツヘキ、  
因テ黒衣ハ、年頭式日登城ノ時ハ、上ハ家來四人、  
次ハ三人、黄衣ハ二人、青衣ハ一僕然ルヘシ、何レ

モ馬駕籠ヲ用ヒス、歩行スヘシ、馬ハ武用ナレハ  
廢スヘカラスト云人右ヘケレ、其レハ少シ遠  
行ノ時カ、又平日ノ調鍊ニタヘス用ユヘシ、式日  
ニカキル可ラス、人ノ足トテモ、時々ハ用ヒ子ハ、  
軍陳ノ用ニハ立タヌナリ、駕籠ニノルヲハ、老人  
病人婦人ナラテハ、猥ニ乗ルヘカラス、武士ノ隣  
家ニ行ニモ、駕籠ニノルヲ、誇張ノ至ニシテ、且又  
武用ニ害アルナリ、  
位階九等ノヲ先ツ一等ハ、家老政事ニ任スルモ

ノ位トス、又世子ヲ除テ他ノ諸公子ノ位トス、二等以下ハ、役名役格、國ニヨリ不同テ、故一々配當シ難シ、故ニ姑ク之ヲ知行高ニ配ス、萬石以上ノ世卿ハ、役ナク氏ニ等タルヘシ、役格ニテハ、家老ノ次タル者ノ席トスヘシ、三等ハ、三千石以上、コレ迫ヲ黒衣トス、四等ハ、千石以上、五等ハ、三百石以上、六等ハ、百石以上、コレマテヲ黄衣トス、七等ハ、九等ハ、中扈從、歩士、歩卒ノ位トス、コレヲ青衣トス、萬石以上ハ、大國ニテモ、一兩家ニ過キ

サレハ、先ヲ三千石以上ヲ以テ、家格ノ最上トスヘシ、然レハ、役格ハ一等ヲ以テ最上トシ、家格ハ三等ヲ以テ最上トス、家格ハ四等五等ノ者モ、役格ハ一等ニモ進ムヘシ、是賢者ノ道ヲ開クナリ、是大國三十萬石内外ノ所ヲ以テ言ナリ、小國ハ其國ニ從ヒ、知行高ノ割合ヲ改ムレハ、其他ハ、大國ニ異ナルナシ、  
家中ノ子弟、及其僕隸、ミナ其位ト服色ヲ定ムヘシ、大畧青衣ニテ、其内黒衣ノ子弟ハ、七等ニ準シ

黄衣ノ子弟ハ、八等ニ準シ、青衣ノ子弟ハ、九等ニ  
準シ、然ルヘシ、陪臣ノ位モ、亦此三等ノ内ニ配當  
スヘシ、九等ニ至テハ、父子主從皆同列ニシテ可ク、  
大祿ノ子弟ヲ倍臣ニ準スルコト、人ノ承允セヌコト  
ナレド、先ツ一旦下位ニ居キテ、其身ヲ高ラセス、  
下情ニ通セシムルコト、即其人ヲ教育スルノ術ニ  
而後十六七ヨリ二十二三マテノ内、國君ヨリ目  
見仰セ付ラレ、其上ニテ階級ヲ給ハルヘシ、即其  
家格ノ一等下ニ居クヘシ、三千石ノ嫡子ハ第四

等、庶子ハ第五等、千石以下モ之ヲ以テ差トス、聖  
人ノ教ニテハ、天下生ナカラニシテ貴キ者ナシ、天  
子ノ子モ猶士ノ如シト立タリ、故ニ古ヘ公侯伯  
子男ノ世子タル者、其父薨スレハ、士ノ服ヲ著テ  
天子ニ見ヘ、其ノ上ニテ父ノ爵ヲ賜ルコト、周ノ禮  
ナリ、誠ニ美々シキコトナリ、如此ニシテ君臣ノ  
道ハ明ナル可ナリ、其家ニ生サヘスレハ、君ヨリ  
賜ハラヌド、父ノ格ハ我物ト心得ルコト、門地ノ尊  
ニシテ、君却テ臣ニ制セラレ、理ナリ、

家中ノ陪臣、三ノ等級ヲ與ヘ、直臣タリ凡、等級卑  
キモノハ、陪臣ノ下ニ坐スヘシ、今時此ノ制ナキ  
故ニ直臣陪臣、互ニ意地ヲ張ツテ、相下ラス、直臣  
ノ位卑キモノト、陪臣ノ位高キモノハ、苟且ニモ同  
席セス、同席スレハ、必ス上下ノ争ヒヲ爲ス、大ニ  
禮讓ノ義ヲ敗リ、且同國ニ在リナカラ、仇敵ノ如  
ナルコト、政ニ害アルコトナリ、國中ニテケ様ノコト  
ルハ、君ノ耻辱トイフヘシ、凡國中ニ、一人タリ凡、  
無格ノモノヲ置クヘカラス、婦人小兒出家社家

ノ類マテ、必ソノ格ヲ定メ、出會ノ儀、少モ席頃ノ  
評議ニ及ヌ様ニスヘキナリ、俗人ノ説ニハ、格ヲ  
定メスノ、名々己カ身ヲ尊キ物ト思ハシムル、是  
即互ニ勵ミ合テ出精セシムルノ術ナリト、コレ  
ハ上ヨリノ世話行届カサルヲ掩ントソ、如是ノ  
コトニ託スル、所謂遁辭ト云モノ之、如是ニテハ、人  
ニ争ヲ教ル理ニテ、和合一致スルコトナシ、亂世ナ  
ト左様ニアリテハ、別ノ差支多キナリ、又太平ニ  
テハ、互ニ誇張ヲ務ムル故、奢靡ニ流レ、困窮ノ源



トナルナリ、必俗説ニ惑フ可ラス、  
右ノ如ク位階ニ從ヒ服色ヲ定メタル上ハ、家中  
ニテ、美服ト多僕トヲ用ヒテ外ヲ張ルコト、自ラ止  
ム、困窮モ年ヲ追テ改マルヘシ、其次ハ庶人ノ奢  
靡ヲ戒ムヘシ、今時ハ、只絹布ヲ用ルコトノ禁而已  
ニテ、其他ニ及ハス、誇張ハ人情ノ免レサル處ナ  
レハ、絹布ヲ禁セラレハ、又外ノ事ヲ以テ人ニ  
勝タルトシ、其費ハ益多クナルコト、其レヨリハ、相  
應ニ誇ルヘキ筋ヲ定メテ、其願ヲカナヘ、奢靡ニ

ナカレサル様ニセシムヘキナリ、其仕方ハ、庶人  
ニ段格ヲ設クルニシクハナシ、古ノ時、民ニ爵一  
級ヲ賜フナト云フアリ、當時諸國ニモ、富人ニ金  
ヲ獻セシメテ格ヲ與ルコト、一統ノ事ナレバ、其法  
尚精密ナラス、因テ愚按ニ及フナリ、格ヲ與ヘシ  
ト思ハ、先ツ無格ノ者ニ、キヒシク法ヲ立ツヘ  
シ、服飾ノ上ニテ云ハ、羽織ト云モノヲ、一統ニ  
制禁スヘシ、冬春兩時ハ、身ヲ暖ムル夕メナレハ、  
綿入レ羽織ヲ許スヘシ、四時共ニ、薄キ羽織ヲ用

ユルヲ禁スヘシ、其上ニテ褒賞ノタメ、或獻金ノ  
數ニ從ヒ羽織ヲ許スヘシ、其一等上ハ、袴脇指ヲ  
許スヘシ是又其功ト獻金トニ從フヘシ、其上ハ  
苗字ヲ許シ、其上ハ目見ヘヲ許シ、其上ハ段々ト  
家中ノ格式ニ準スヘシ、如此スレハ、少シニテモ  
人ノ上ニ立ント思ヨリ、才カアル者ハ、何ナリモ  
功ヲ立テ、賞ニ與リ、財アル者ハ、金ヲ獻メ格ヲ  
求ルナリ、私ニ財用ヲ費メ、人ニ誇ル處ヲ、上ニ物  
ヲ獻メ、其許ヲ蒙テ、面目ニスルハ、其利害雲泥ノ

此處ハ、諸國大抵其通りナレモ、ニツノ行届サル  
トアリテ、其法死法ニナリ、用ニ立タヌナリ、一ハ  
无格ノ者ニ制禁行届カス、私ニ羽織袴脇指苗字  
追ハ、勝手次第ニ之ヲ用ヒ、夕、官府ニ出ル時ノ  
ミ法ノ通ニスルナリ、凡庶人ハ、官府ニ至ルト至  
テ少シ、人ニヨリテハ生涯足踏セサルモノアリ、  
其處ニ格ヲ立タリトテ、何ノ用ニモ立ヌ、故ニ平  
日ノ所行ニ、委ク心付ケ、法ヲ犯ス者アレハ、村役  
町役ノ者追モ罰セララル、様ニスヘシ、而後始テ

公許ヲ蒙リタル者ハ、規模アリテ、有格ト无格ト  
ハ、途中ノ行合ヒ、席上ノ出合ニ、一向別段ノ挨拶  
ニ成ルヘシ、第二ニハ、世襲ト云フ、當世ノ習ニテ  
百姓町人ニ格ヲ與ル追モ、一度格ヲ許サルレハ、  
子々孫々、多ク其通ニナルナリ、此弊俗ニヨリ、諸  
國共ニ町人百姓ニ苗字帶刀ノモノ澤山ニナリ、  
一向上ノ用ニモ立タス、人ノ爲ニモナラス、政事  
ノ妨ニハナルナリ、凡ソ苗字帶刀ハ、庶人分外ノ  
事ナレト、格別ノ功ニヨリテ免サル、之、若世々

其通りナラハ、庶人ト異ナリ、農商ノ業ヲモ改ム  
ヘキトシ、故今制ヲ立ル時ハ、庶人ノ格ハ、タトヒ  
何十萬金ヲ獻メ、家老格ニナルト、其子ハ羽織ナ  
シノ平百姓ニモトスヘシ、其者親ノ跡ヲツカシ  
ト思ハ、又新ニ功ヲ立ルカ、金ヲ獻スルカセシ  
ムヘキナリ如此スレハ、功ヲ立ル者、金ヲ獻スル  
者、混々トメ斷ルナク、下ニハ出精ノ者タヘス、  
上ニハ利益ノ源ツキス、是ヲ活法ト云ナリ、

攝  
主  
人

迂言禄位乾下  
終

